

# 小水力発電にかかる系統連系の 容量確保に関する要望



平成28年10月28日

戸ノ口堰土地改良区  
会津南部土地改良区連合  
会津北部土地改良区  
福島県土地改良事業団体連合会

# 小水力発電にかかる系統連系の 容量確保に関する要望

福島県の農業の維持発展を担う土地改良区では、土地改良区を運営していくうえで必要な財源の確保と国・県が進める再生可能エネルギー導入の推進に貢献するため、太陽光発電や小水力発電に取り組んできたところである。

特に会津方部の土地改良区では、土地改良区が管理する農業水利施設を活用して、安定的に電力を供給できる小水力発電に取り組んでいるところである。

しかし、系統の容量不足から連系できない地区が出ており、今後小水力発電に取り組む予定となっている地区においても、計画を進めることができない状況となっている。

については、福島県の再生可能エネルギービジョン実現のためにも、小水力発電を実施しようとしている下記地区について、系統連系に必要な容量を確保するとともに、安定的に電力を供給できる小水力発電の系統連系を最優先で認定することを、関係機関に強く働きかけて頂くようお願いいたします。

## 記

- 1 戸ノ口堰地区：施工業者と契約直前に系統の空き容量ゼロ発表  
発電計画容量 新設 180kw
- 2 会津南部地区：平成27年度国営かんがい排水事業採択済み  
発電計画容量 新設 65kw
- 3 会津北部地区：平成28年度国営かんがい排水事業採択済み  
発電計画容量 増量 65kw (570kw → 635kw)  
新設 124kw

戸ノ口堰土地改良区

理事長 佐藤 鉄幸

会津南部土地改良区連合

理事長 齋藤 善平

会津北部土地改良区

理事長 穴澤 晃

福島県土地改良事業団体連合会

会長 車田 次夫